

カラフルな漆手帳

A2201219 橘 里枝

研究の背景（概要）

漆はその歴史において、家具・建築物・神仏具・漆器など私達の身の回りのものに多く用いられてきたものである。しかし、ライフスタイルや時代の変化によりニーズも変化している今、漆に対しても新しい変化や対応が求められている。したがって、現代においての生活空間やそれぞれの趣向に合った漆工品を製作し、漆を日常に溶け込ませることで、再び漆に注目が集まるのではないかと考える。

また、漆器を見ていて思ったのがカラーバリエーションについてである。漆といえば赤と黒のイメージが強い。実際ほとんどの漆器店で売られている漆器はこの2色である。漆には現在様々な色の顔料があり、それを使用することで多彩な表現が可能であるということを私はゼミで学んだ。このことを生かし、カラーバリエーションを豊富にすることで、より選択の幅が広がり需要が高まるのではないかと考える。

研究の目的

- ・外見の美しさと使うことによる漆の表情の変化に触れ、漆への親しみを促す
- ・豊富なカラーバリエーションによる漆工品の新たな提案

研究のプロセス

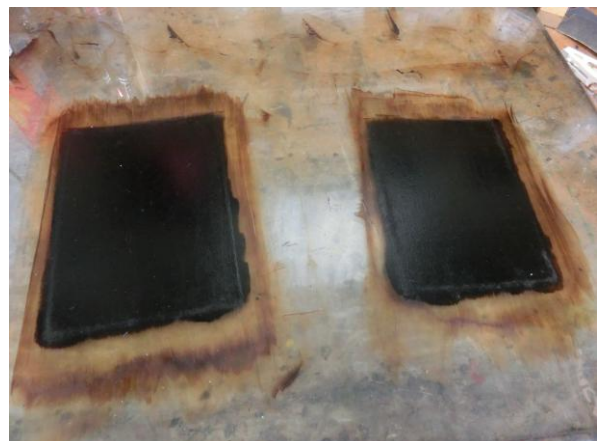
手帳の外側

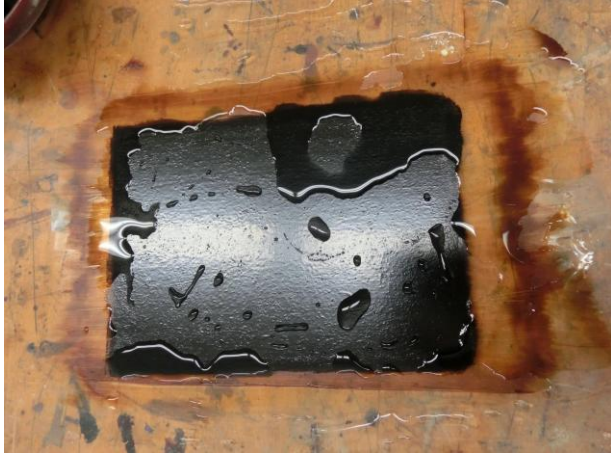
- 1、デザイン・サイズ・色の決定
- 2、布着せ
- 3、メスリ
- 4、研ぎ
- 5、下塗り
- 6、錆
- 7、中塗り
- 8、上塗り

乾漆板の制作

インデックス

- 1、和紙を用いた乾漆板を制作
- 2、下塗り
- 3、中塗り
- 4、上塗り





リフィル

- 1、市場調査
- 2、デザインの提案・制作

成果物(完成作品)

年代に関係なく手にとってもらえるよう、加飾は控え色漆のカラーバリエーションを増やした。また、リフィルも漆手帳に合ったデザインを提案し制作した。

考察・感想

普段持ち歩くものについてアンケート調査を実施し手帳を制作したことは、結果として漆への新しい提案と漆の関心に対する向上に繋がることが出来たのではないかと思う。今回制作したシステム手帳であれば中のリフィルを買い換えることで次の年も同じ手帳を使うことができ、漆という良いものをより長く使い続けることができる。制作にあたって、手帳のサイズよりも色漆に重きをおいたのは、私がクラフトゼミに入ったとき、漆には黒や赤だけでなくさまざまな色があるのだということを始めて知った時の驚きをたくさんの人達にも味わってほしかったためである。わからないことが多く苦労したが自分が考えたテーマで作品を制作することは楽しく、自分が思い描いているものを実際に形にする難しさもあったが同時にとてもやりがいがあった。反省点としては、時間配分がうまくいかず気持ち的にも焦ることが多く、もっと計画性をもって制作にあたるべきだった。